

電線盗難で銅→アルミ交換需要急騰

古河電工

アルミ導体ケーブル需要が急伸している。背景には

太陽光発電施設での相次ぐ銅導体ケーブル盗難がある。

中でもアルミ導体ケーブルのバイオニア・古河電工工業(以下、古河電工)の「らくらくアルミケーブル」には

注目が集まっています。市場の開拓者であると共に世界

のスタンダードとなりつつある。古河電工メタルケーブ

ル営業本部 営業企画部 アルミ拡販チーム 課長の佐藤

仁氏に話を聞いた。



古河電工メタルケーブル 営業本部 営業企画部
アルミ拡販チーム 課長の佐藤仁氏

多発する太陽光発電施設での銅導体ケーブル盗難によって、貴社の「らくらくアルミケーブル」には需要が増えているようです。

「多発する太陽光発電施設での銅導体ケーブル盗難によって、貴社の「らくらくアルミケーブル」には需要が増えているようです。」
「そうですね。当社の「らくらくアルミケーブル」は、これから採用が増加していく予測です。犯罪集團の中でも太陽光発電施設で、パワコンやベネルを性能の高い機器への入れ替え(バワラング)が増えており、同時にケーブルもアルミの見直しが進んでいます。来年くらいまではこうしたニーズは多いと思います。」

現場省力化最前線 [2]

高施工で倉庫・工場でも採用増

■ 物流倉庫や工場からも好反応
—アルミ導体ケーブルは発電施設の銅導体ケーブルが狙われるのが、「背景には銅価格の高騰がありまして。20年ごろには1億円ほどだった銅価格が、現在170万円ほどで推移しています。5年で約

くらくなっています。最初から被覆材が鋼で、ケーブルとは異なる青色をしています。そこで職員が、抑止つながるなどの2030年目標で、現地で採用が増加していく予測です。」

「それに対し、アルミは価格が鋼の3割程度。ケーブルを盗んだのにも皮剥ぐ手間なども考えると採算が合いません。また、日本国内ではアルミケーブルは、この取り扱いをサクサクするため、初期費用が抑えられるのです。」

「確かに設置された太陽光発電施設で、パワコンやベネルを性能の高い機器への入れ替え(バワラング)が増えており、同時にケーブルもアルミの見直しが進んでいます。来年くらいまではこうしたニーズは多いと思います。」

「太陽光発電施設で、パワコンやベネルを性能の高い機器への入れ替え(バワラング)が増えており、同時にケーブルもアルミの見直しが進んでいます。来年くらいまではこうしたニーズは多いと思います。」

「太さに関する話題で、2024年間で開発したわけではありません。」

「太さに関する話題で、2024年間で開発したわけではありません。」



らくらくアルミケーブル

—そもそもなぜ太陽光発電施設の銅導体ケーブルが狙われるのか。「背景には銅価格の高騰がありまして。20年ごろには1億円ほどだった銅価格が、現在170万円ほどで推移しています。5年で約

くらくなっています。最初から被覆材が鋼で、ケーブルとは異なる青色をしています。そこで職員が、採算が合いません。また、日本国内ではアルミケーブルは、この取り扱いをサクサクするため、初期費用が抑えられるのです。」

「確かに設置された太陽光発電施設で、パワコンやベネルを性能の高い機器への入れ替え(バワラング)が増えており、同時にケーブルもアルミの見直しが進んでいます。来年くらいまではこうしたニーズは多いと思います。」

「太さに関する話題で、2024年間で開発したわけではありません。」

「太さに関する話題で、2024年間で開発したわけではありません。」